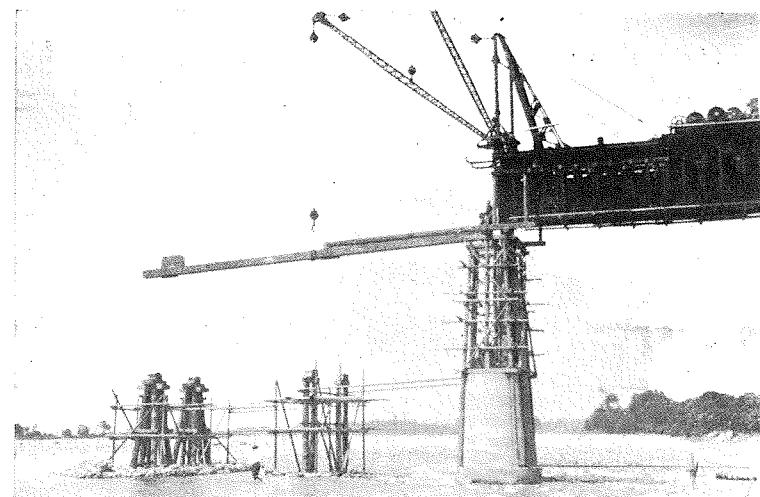
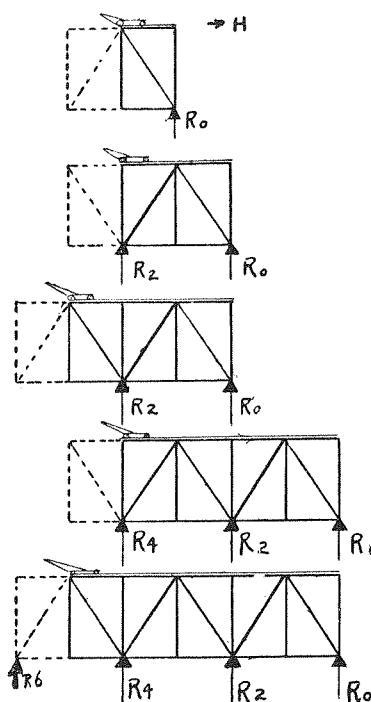
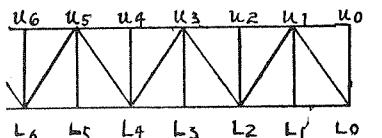


簡易ベント利用



迅速經濟なる

第1圖 簡易ベント利用の構架架設の景、先づ下弦材を送り出す所

150呪カンチレバー型
上路構架組立圖

飛越線第一神通川上路

150呪構架設工事

架橋工事が河川の出水時に於て大なる損害を被むる事あるは從來の工法では珍らしい事でなかつた。最近に我國の工事技術が發達して種々簡便なる架橋法が案出されて、架橋工事中の損害が大に少くなつた。爰に紹介する方法は出水時を避けて、簡便な足場とクレンを利用して、迅速な架橋をやつた一例である。

架設方式を概説すると、組立にはデリック・クレンを使用し、下弦材繼手三ヶ所は豫め築造したる木製假ベント上に置く、而して下弦材の前後兩端は二分格を一本となし、中央分格は各一分格長とした。

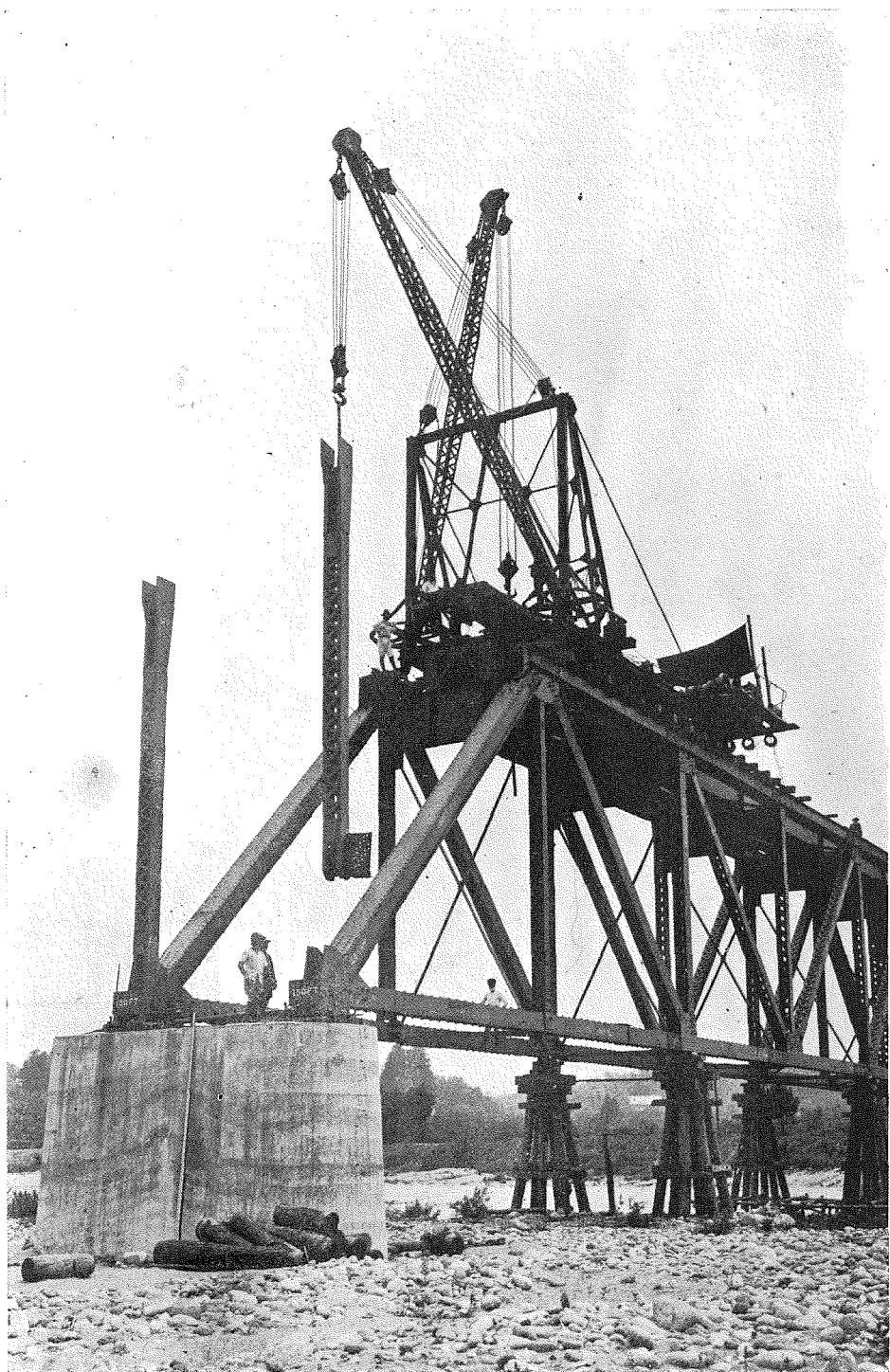
組立には初め二分格分の下弦材を送り出しベント上に預け、第一分格の組立をする。而してクレンを前進せしめ、第一分格上に至らしめ、第三分格の組立をする。以下同じ順序により組立作業をなす。

唯第二分格組立に際しクレンを第一分格上に到らしむる爲め、第一分格點に来る集中荷重（第一徑間に限る）を支ふるため最も簡単なるベントを築造した。

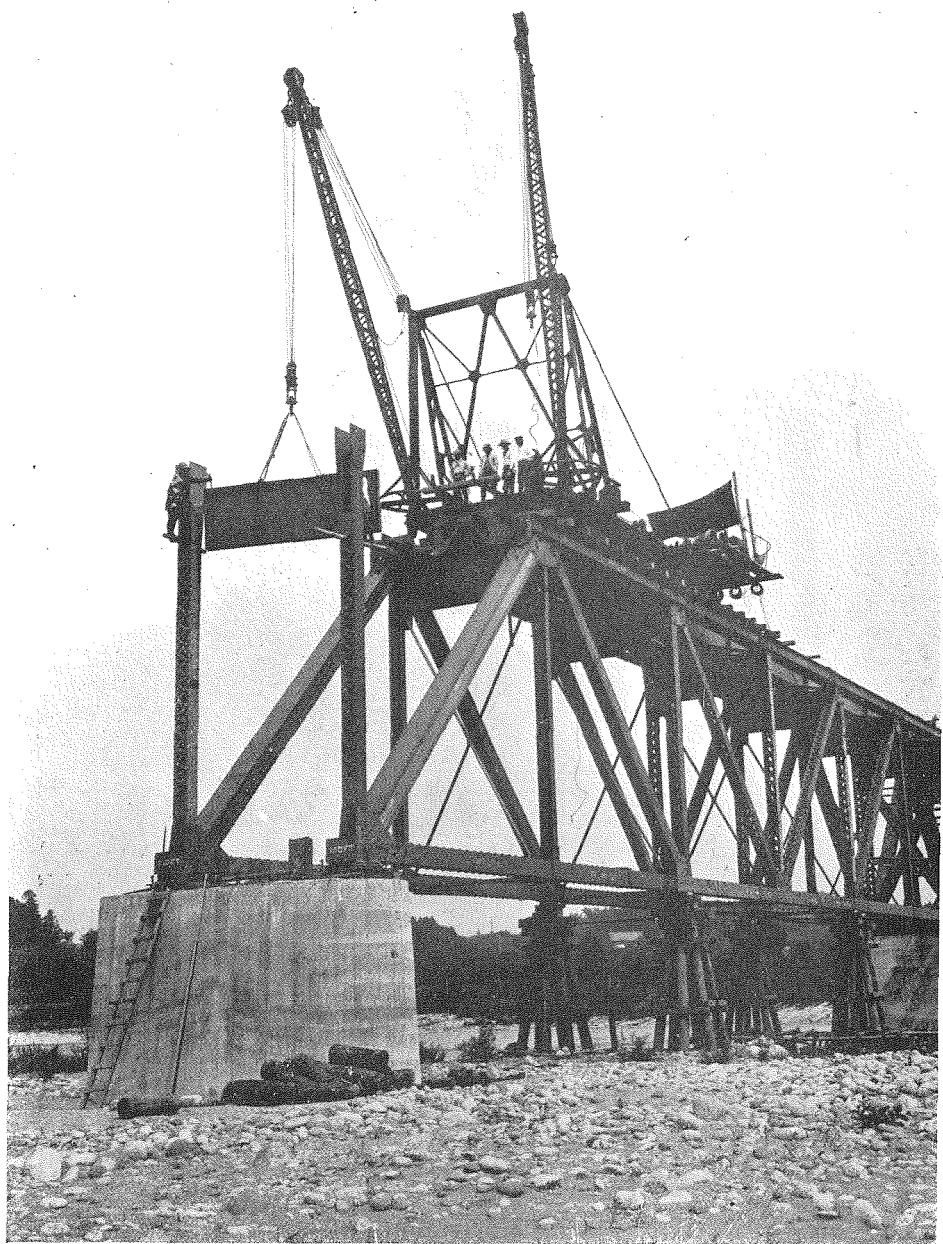
150呪一連を速い時は四日間、平均一連一週間で組立てた。

組立工事費は一呪當り 26圓287

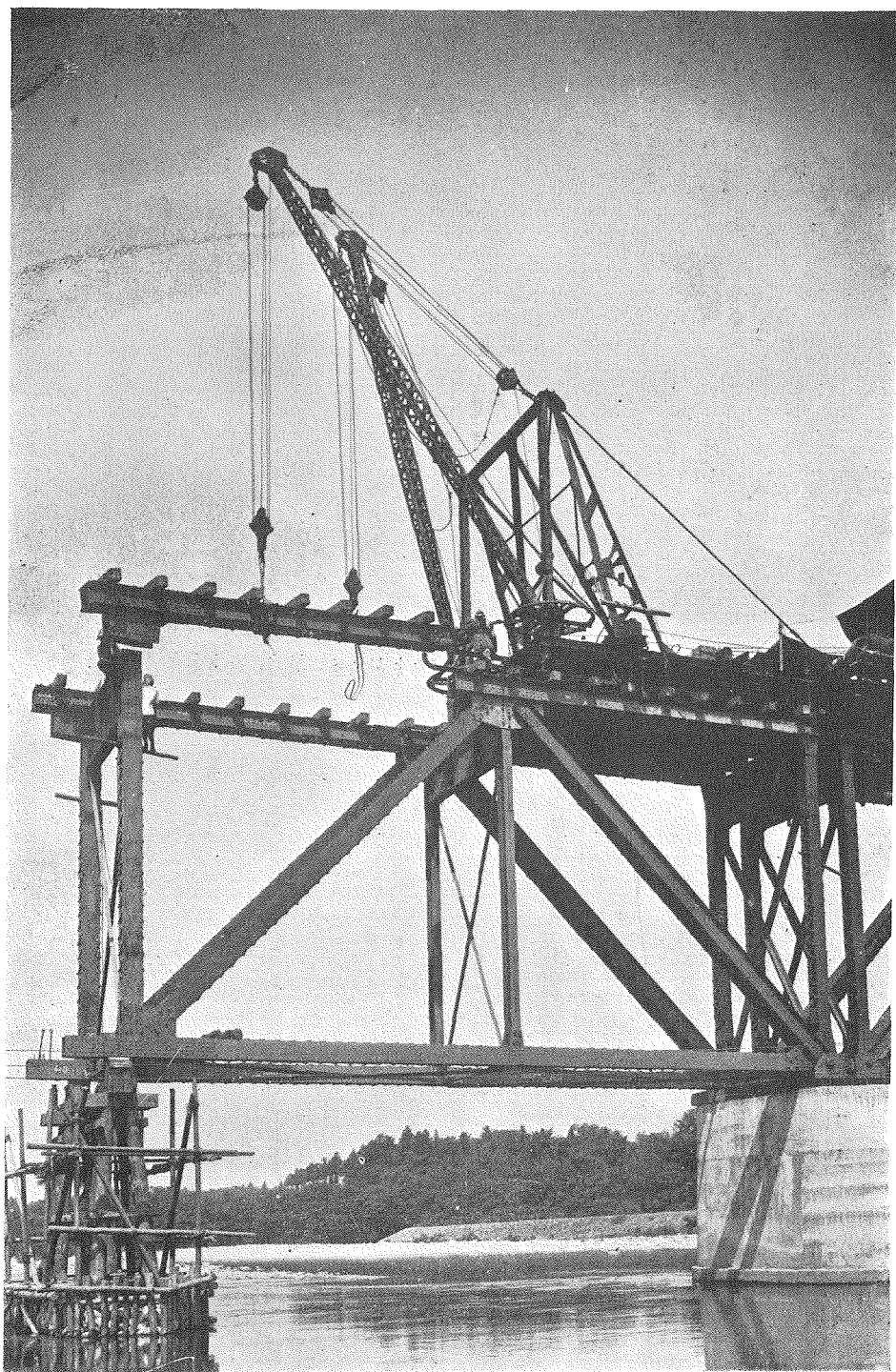
以上は鐵道省長岡建設事務所の直營工事で監督主任は小出技師、小田技手である。



第2圖 第一徑間架設の終りにして End vertical を吊下る所



第3圖 第一徑間架設の終りにして Floor beam を取付る所



第4圖 第二徑間架設中にて Upper Chord を吊下げる所